

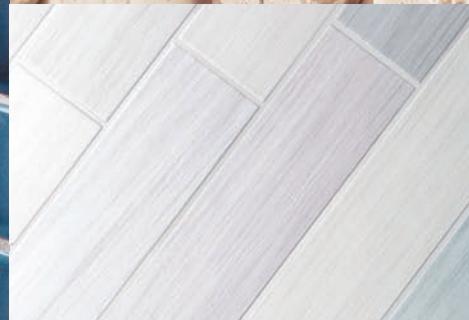


第59期中間 株主通信

# AVELCO Co., Ltd.

BUSINESS REPORT 2013

[ 2012年10月1日~2013年3月31日 ]



# トップインタビュー

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、中長期的な経営戦略として掲げている「顧客づくりの継続」「施工品質管理の強化」「業務の効率化」をさらに推進し、併せて創エネ・省エネへの取り組みとして「環境エネルギー分野の強化」を図るため、期待の高まっている太陽光発電システムにもさらに注力していく考えであります。

また、新たに2013年5月より株式会社インテルグロー及び同社の子会社2社を完全子会社化いたしました。

このたびのグループ拡大に伴い、機動的な事業運営と競争力の向上を目的としたグループ経営戦略のあり方を検討した結果、2013年10月1日より名称を新たに持株会社体制に移行します。グループ会社としてインテルグロー

グループが加わることで、中部エリアへの進出など営業地域を含めた業容の拡大や、販売網の展開による地域密着型の施工販売会社としての地位を確立してまいります。

配当につきましてもご支援に報いることができますように、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた還元を図っていく考えであります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご理解と変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



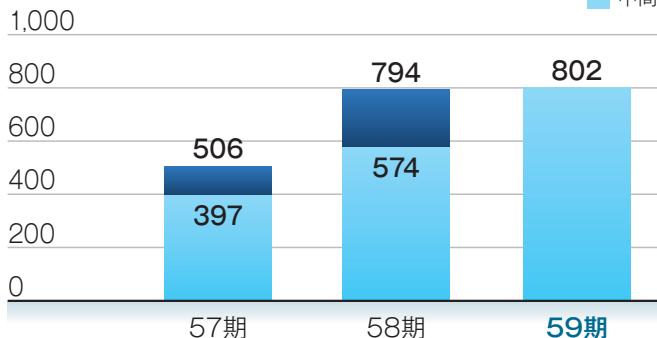
代表取締役社長 阿部 一成

## 連結ハイライト

■ 売上高 (単位: 百万円)



■ 経常利益 (単位: 百万円)



## 2013年9月期第2四半期の概況をお聞かせください。

昨年発足した自民党政権による経済政策、いわゆる「アベノミクス」による直接的な影響はまだ目に見えて現れているわけではありませんが、見積り依頼件数が増加傾向にあるなど、当社を取り巻く事業環境に明るさが増していることは確かです。

また、住宅マーケットに関しては、長期的トレンドでは人口減少が進む中で市場の縮小は避けられないと予想しているものの、新設住宅着工戸数は補助金や税制面での優遇等を背景に2012年9月から2013年3月まで7か月連続で前年同月を上回り、足元は堅調に推移しています。

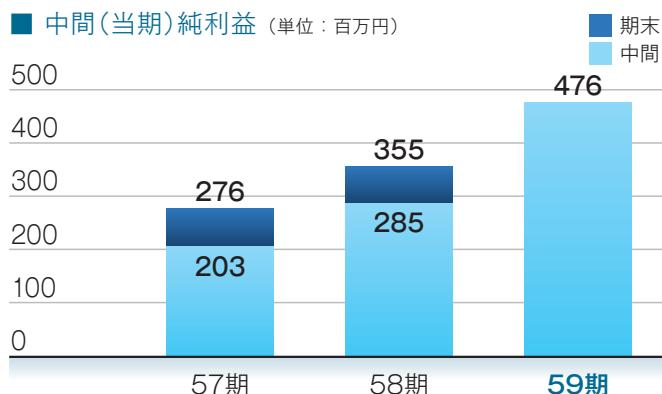
こうした環境の下、当社では戸建住宅事業において様々な重点商材の拡販に努めておりますが、中でも大きく伸長した商材の一つが太陽光発電システムです。

2012年7月に導入された再生エネルギー買取制度によりメガソーラーを建設する事業者が急増し、新たな市場が創出されたと言える状況です。当社では住宅用、産業用双方とも比較的早くから取り組んできたことに加え、見積りから施工まで全ての工程を手掛けることのできる数少ない施工業者であるため、お客様から高い評価を頂いております。

その結果、第2四半期時点で既に当初年間計画数値を大きく上回る見通しで推移しています。競争力の高さを背景に、売上高だけでなく収益性も良好です。

太陽光発電システムによる発電所建設は、遊休不動産の有効な活用方法として、より注目が高まることも予想され、今後も有力な事業分野として注力していく考えです。

また、他の取扱商材としてはサイディングの拡大に力を入れております。工場出荷時点でカッティングなど必要な加工を済ませ現場では組立てるだけで完了するプレカット工法により、それまで5日掛かった工事が2~3日で完工することができ、結果として粗利率も2ポイント程度改善させることが可能で、現場作業員の減少を十分補う事が出来ると考えています。



当社グループでは従来最重要施策の一つとして、中小工務店などを対象とした「新規顧客開拓」に取り組み着実に成果を上げてまいりましたが、この第2四半期も順調に新規顧客開拓件数を伸ばすことが出来ました。

これまでの経験から、新規顧客開拓はおおよそ6か月程度のタイムラグで実際の受注や売上に結び付いてくると考えられますので、これまで続けて来た地道な活動の成果が今下期から大きく花開いてくるものと期待しています。

また、大型物件事業は低採算の物件が順次完工する一方で、当期より採算性を重視した選別受注を行ったことにより、工事の中心が採算の良い物件へ移行しており、粗利率は大幅に改善しています。

こうした取り組みの結果、2013年9月期第2四半期の連結業績は、売上高230億66百万円(前年同期比 △3.3%)、営業利益7億48百万円(同 +44.8%)、経常利益8億2百万円(同 +39.7%)、四半期純利益4億76百万円(同 +66.7%)となりました。

## インテルグロー社 完全子会社化の狙い、今後の展開は どのようにお考えでしょうか？

人口減少社会に入った日本において、住宅関連市場は長期的に縮小が避けられないことは言を待ちません。そうした厳しい環境下で勝ち残り、更なる飛躍を図り、企業価値を向上させるためには、関東を中心とした地域密着型の施工販売会社としての地位をより一層確立させると同時に、営業基盤の拡充を図ることが急務であると従来考えておりました。

そうした中、愛知県・静岡県・三重県で当社と同様に、住宅設備機器の販売やタイル工事、住設工事の施工を手掛ける株式会社インテルグローとのご縁が生まれ、今後の経営ビジョンや事業戦略について協議を続けた結果、両社の営業地域が補完関係にあることを活かし、工事力や企画力についての情報交換によるクオリティーの向上、販売チャネルの共有化による販売網の拡大、仕入先の共通化によるボリュームメリットの享受など様々なメリットを生み出すことができるとの結論に至り、当社がインテルグロー社を完全子会社化することで合意いたしました。

具体的なプロセスとしては、2013年5月にインテルグロー社を完全子会社化した後、2013年10月1日をもって機動的な事業運営を行うと共に、競争力をより高めるためのグループ経営戦略の策定とその推進に取り組むことを目的に、持株会社体制に移行する予定です。また既にリリースの通り、この移行に伴い「株式会社アイナポホールディングス」に商号を変更いたします。

インテルグロー社の完全子会社化に伴う統合作業は順調に進んでいます。まず現在は経営効率化のために情報システムの統一を進めていますが、その後、利益率の高い自社商品を拡大させるための仕入システムの変革を進めるほか、改善の余地の大きい品質管理基準、施工力、管理能力の引上げにも取り組んで参ります。

また、資金効率の改善、社員の意識改革も重要な課題と認識しています。

今回のM&Aに際しては全ての課題を抽出した後、「1年目大改革」、「2年目 定着」とスピード感を持って2年計画で実行する考えです。M&Aは企業文化の違う2社が一つになるわけですから様々な困難も予想されますが、幸いにインテル

グロー社の鋤柄社長は年齢も若く発想も柔軟で当社のビジョンやビジネスの進め方を良く理解しており、グループ力拡大のための良きパートナーを得ることができたと喜んでいきます。

今回のM&Aをリリースしたところ、全国から多数の引合いを頂いておりますが、まずはこの案件をしっかりと仕上げた後、その実績・成果を検証頂いた上で、次の案件に進むことにしており、拙速に陥らず着実にM&A戦略を推進していく考えです。

## 2013年9月期通期見通しは いかがでしょうか？

前述のとおり新規顧客開拓が大きく伸長していることで年度後半から実績に結び付いてくる可能性があること、大型物件事業においても大型案件の受注に向けて交渉を行っている等、プラスアルファの要因もありますが、現時点では2013年5月8日に修正発表した通期予想どおりに順調に推移していると考えています。

事業環境に明るさが出てきたことを追い風にしつつも、気を緩めることなくこれまで通り重点商材の取扱いに注力するとともに、粗利率向上に取り組み、通期予想を少しでも上回ることができるよう努力してまいります。



## 新たなグループ体制へ ～ 株式会社インテルグローについて ～

当社は、2012年10月1日付「株式会社インテルグローの完全子会社化に向けた基本合意に関する合意書締結のお知らせ」のとおり、当社と株式会社インテルグローとの間で株式交換を実施することで同社を完全子会社とする内容の基本合意を行い、2013年2月8日開催の取締役会において、基本合意に基づく株式譲渡契約書及び株式交換契約書をそれぞれ承認し、正式締結に至りました。

現在当社は、当社、連結子会社1社、非連結子会社1社にて当社グループを構成しておりますが、このたびの完全子会社化により、グループ会社としてインテルグローグループが加わります。

インテルグローグループは、「株式会社インテルグロー」「株式会社フォー・スタイル」「株式会社アイズ」で構成されており、愛知県・静岡県・三重県にて住宅設備機器・配管資材・各種タイル・石材の販売及び施工・住設工事の施工管理を行っております。

このたびの完全子会社化により両グループの営業地域が広がることで、工事力・企画力の強化だけでなく、販売網の拡大が双方の収益性の向上、業容拡大、発展につながると考えております。

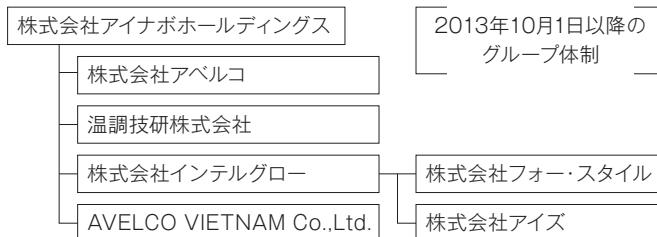
人口の減少に伴い、住宅関連市場は厳しい状況下におかれておりますが、当社はグループ一丸となって地域密着型の施工販売会社としての地位を確立し、お客様の満足度向上を目指して地域貢献を図ってまいります。



### 株式会社インテルグロー

所在地：愛知県岡崎市竜美台二丁目8番地8

代表取締役：鋤柄禎彰





## 施工現場紹介 「東京ソラマチ® フードマルシェ」

2012年5月22日に開業した「東京ソラマチ® フードマルシェ」に、当社マリスタのオリジナルタイルをご採用いただきました。

壁には「五彩」を使用し、下町のあたたかさやアンティークな仕上げを表現しています。

五彩は、土練器を使用して成形し、窯の中にできるだけ酸素が入らないようにして焼成する“還元焼成”という手法で作られており、さらにタイルひとつひとつに熟練の職人が粘土を塗って素材の柔らかさ、形状の自然な暴れ、色むらなどの表情を与えるという、手間暇をかけて作り上げられたタイルです。

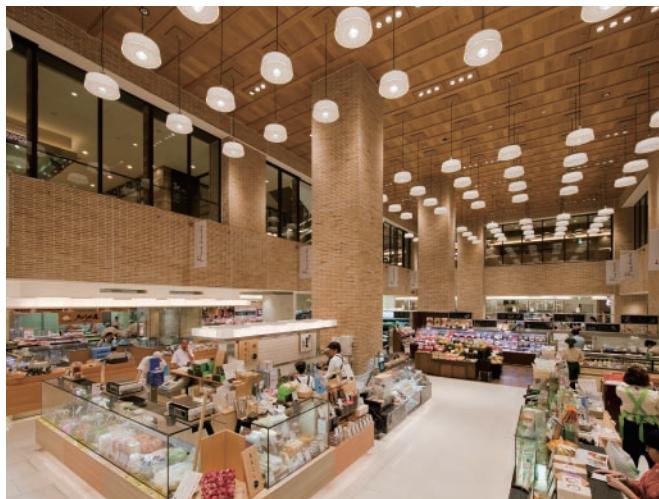
「人の手」と「土」と「火」がタイルに焼き物本来のぬくもりを持たせ、古煉瓦のようなどこか懐かしい空気を感じることができます。

床のタイルは、イタリア最新の商品である「E-motion」を使用しています。

E-motionは、一般的なつや感のあるタイルとは違い、過度の反射を抑えた“ラバート仕上げ(半磨き)”が特徴の商品です。控えめで上品な光沢感を持つ仕上がりとなっており、明るく心地よい空間を作り出しています。

またメンテナンス性にもすぐれているため、より長くタイルの質感や高級感を楽しむことができます。

東京ソラマチへお寄りの際は、マリスタタイルが作る新しい下町情緒を体感してみてください。



「東京ソラマチ® フードマルシェ」

施主：東武鉄道 株式会社

設計・監理：株式会社 乃村工藝社



壁：五彩

GSI-290B 特注色  
290×40×15mm



床：E-motion

EMT-600P/SW  
596×596×10mm





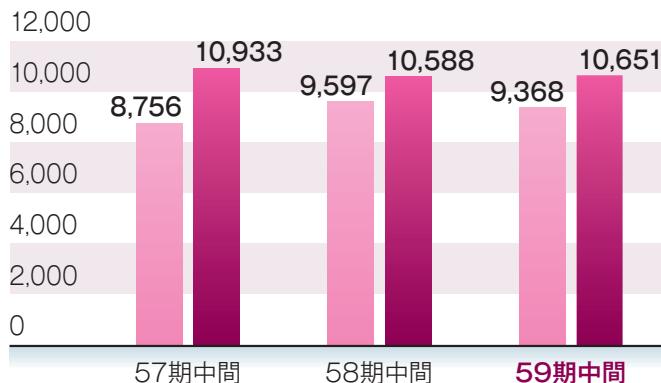
## 戸建住宅事業

住宅設備機器販売及び工事においては、工務店等への販売比率が高まる中、ハウスメーカー向け商品のスペックアウトの影響もあり62百万円の微増となりました。

建材工事においては前年並みに推移したものの、タイル及び関連商品販売において売上限度額管理の強化で売上高が大幅に減少した結果、2億28百万円の減少となりました。しかし、損益面では、サイディング工事に関して原価管理を徹底したことで原価率が低下し、利益率は大きく改善しました。

以上の結果、前年同四半期と比べ売上高は0.8%の減収、営業利益は5.4%の増益となりました。

- タイル及び関連商品販売、タイル工事
- 住宅設備機器販売、住宅設備工事



## 大型物件事業

タイル工事においては、大型プロジェクト物件の受注抑制をはじめとする選別受注の効果により、損益面では利益率が改善し営業利益を確保することが出来ました。

住宅設備工事においては、新規地場ゼネコンの開拓や収納家具工事が期待値を下回ったことや大型空調工事物件の受注不振で売上高は2億61百万円の減少となりました。

しかし、低利益現場の受注抑制や販売費及び一般管理費の抑制により営業利益を確保することができ、売上高は前年同四半期比17.0%の減収、営業利益は1億27百万円となりました。

- タイル工事
- 住宅設備工事





# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第58期	第59期中間
<b>資産の部</b>	22,835	<b>28,250</b>
流動資産	17,529	<b>20,999</b>
固定資産	5,305	<b>7,250</b>
有形固定資産	4,068	<b>5,711</b>
無形固定資産	162	<b>155</b>
投資その他資産	1,074	<b>1,383</b>
<b>資産合計</b>	22,835	<b>28,250</b>

科目	第58期	第59期中間
<b>負債の部</b>	9,527	<b>14,073</b>
流動負債	8,836	<b>12,366</b>
固定負債	691	<b>1,707</b>
<b>純資産の部</b>	13,307	<b>14,176</b>
株主資本	13,287	<b>13,679</b>
その他の包括利益累計額	19	<b>44</b>
少数株主持分	—	<b>452</b>
<b>負債・純資産合計</b>	22,835	<b>28,250</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第58期中間	第59期中間
売上高	23,858	<b>23,066</b>
売上原価	20,951	<b>19,918</b>
売上総利益	2,907	<b>3,148</b>
販売費及び一般管理費	2,389	<b>2,399</b>
営業利益	517	<b>748</b>
営業外収益	66	<b>62</b>
営業外費用	9	<b>8</b>
経常利益	574	<b>802</b>
特別利益	—	<b>42</b>
特別損失	32	<b>1</b>
税金等調整前中間純利益	541	<b>842</b>
法人税、住民税及び事業税	249	<b>292</b>
法人税等調整額	6	<b>74</b>
中間純利益	285	<b>476</b>

新規連結子会社が加わったことにより資産は売上債権や土地が増加し、負債は仕入債務や借入金が増加した結果、総資産額は54億15百万円増加となりました。

「戸建住宅事業」における外壁工事分野の収益率の向上と、「大型物件事業」における不採算物件の減少により売上総利益が増加し、不良債権の減少などにより販売費及び一般管理費が抑制され、営業利益は44.8%増加となりました。





# 会社概要 (2013年3月31日現在)

## 会社概要

社名	株式会社アベルコ
代表者名	阿部 一成
創業	大正13年3月
設立	昭和30年3月
本社所在地	東京都足立区鹿浜3丁目3番3号
資本金	896百万円
事業内容	タイル・住宅機器・衛生設備機器・ 空調機器・太陽光発電システム・ 管材・輸入石材の卸販売及び 設計施工・工事請負
関連会社	温調技研株式会社 AVELCO VIETNAM Co., Ltd. 株式会社インテルグロー 株式会社フォー・スタイル 株式会社アイズ
連結売上高	45,655百万円(2012年9月期)
連結社員数	707名
取引銀行	株式会社三井住友銀行 株式会社東京都民銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 三井住友信託銀行株式会社

## 役員

代表取締役社長	阿部 一成
専務取締役	岡本 孝一
常務取締役	船橋 朗
常務取締役	永澤 正博
常務取締役	高橋 正志
常勤監査役	佐藤 和男
監査役	川上 敏宏
監査役	田口 明

## ネットワーク

首都圏特需営業本部	東京TS支店	
	横浜TS支店	
営業統括本部	東京支店	千葉支店
	東京LIVE支店	千葉中央支店
	東京CT支店	船橋営業所
	東京住設支店	埼玉支店
	南東京支店	埼玉西営業所
	東京東営業所	水戸支店
	六本木ショールーム	つくば営業所
	城南支店	群馬支店
	西東京支店	栃木支店
	神奈川支店	郡山支店
	湘南支店	大阪支店
	相模原営業所	



## 株式の状況

発行可能株式総数	27,000,000株
発行済株式の総数	10,704,960株
株主数	1,644名
単元株式数	100株

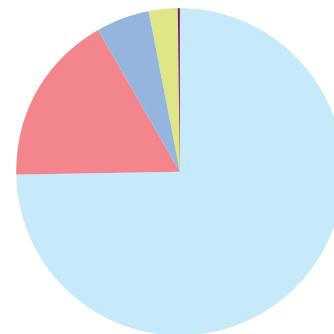
## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
阿部 一成	1,453,505	13.68
阿部 溢子	1,047,273	9.86
アベルコ従業員持株会	536,990	5.05
阿部 太一	519,593	4.89
阿部 亮平	519,592	4.89
株式会社タクルコ	484,300	4.56
株式会社マユルコ	440,300	4.14
阿部 哲二	321,093	3.02
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	262,360	2.47
株式会社東京都民銀行	250,800	2.36

(注)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別分布状況

証券会社	0.18%
金融機関	3.18%
外国法人等	5.17%
その他法人	16.94%
個人その他	74.53%



## IR情報

IR情報は、当社ホームページでもご覧いただけます。



<http://www.avelco.co.jp>

表紙掲載写真はホームページ内カタログにてご覧になれます。



# 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	<ul style="list-style-type: none"><li>● 定時株主総会 …… 毎年9月30日</li><li>● 期末配当金 …… 毎年9月30日</li><li>● 中間配当金 …… 毎年3月31日</li></ul> <p>● そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日</p>

## 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

## 株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

## 株主名簿管理人 事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**電話照会先** ☎ **0120-782-031**

**インターネットホームページURL** <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

## 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## 公告の方法

当社のホームページに掲載します <http://www.avelco.co.jp>

## 上場証券取引所

大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)



株式会社アベルコ

本社: 〒123-8509 東京都足立区鹿浜3-3-3 TEL.03-3853-3391(代) <http://www.avelco.co.jp>

